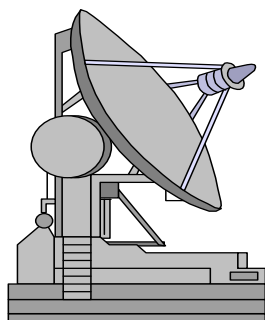


# 照会相談業務申込書添付資料 記入要領

電気通信事業者用

平成 23年 4月  
一般社団法人 電波産業会



# 照会相談業務申込書添付資料

( 電気通信業務用[4/5/6/11/15/18/22G] )

(1/2)

照会相談者名		【1】					ルート番号		【2】							
ルート情報	ルート名	【3】	～	【3】	間	【4】	方式	登録コード <sup>*</sup>	【5】	ルート条件	【6】	AD識別	【7】			
	記事	01局代表周波数		【8】			[MHz]	送信、受信	【9】		周波数配置(N、S)			【10】		
	IDコード <sup>*</sup>	下り方向			【11】	】、上り方向	【11】	】	免許人氏名					【12】		
局情報	局名・局番号		カナ (		【14】	)	局番号	カナ (		【14】	)	局番号	(		【14】	)
	( 都道府県 :		【13】		【14】		(	【14】		【14】		(	【14】		)	
	局位置		東経	【15】	°	【15】	'	【15】	"	東経	【15】	°	【15】	'	【15】	"
			北緯	【15】	°	【15】	'	【15】	"	北緯	【15】	°	【15】	'	【15】	"
	電波の方向及び偏波面		送信側					→→	(	【16】	)	→→	受信側			
	下り方向 局番号昇順	アンテナコード <sup>*</sup>	レドームコード <sup>*</sup>	【	【17】	】	【	【18】	】	【	【17】	】	【	【18】	】	
		アンテナ種別	アンテナ海拔高	【19】		【20】	(m)	【19】		【20】	(m)					
		付加損失		【21】		[dB]	【21】		[dB]							
		給電線損失		【22】		[dB]	【22】		[dB]							
		分波器等損失		【23】		[dB]	【23】		[dB]							
送信機出力等		【24】		[dBm]	SDコード <sup>*</sup>	【	【24】	】								
電波の方向及び偏波面		受信側					←←	(	【16】	)	←←	送信側				
上り方向 局番号昇順	アンテナコード <sup>*</sup>	レドームコード <sup>*</sup>	【	【17】	】	【	【18】	】	【	【17】	】	【	【18】	】		
	アンテナ種別	アンテナ海拔高	【19】		【20】	(m)	【19】		【20】	(m)						
	付加損失		【21】		[dB]	【21】		[dB]								
	給電線損失		【22】		[dB]	【22】		[dB]								
	分波器等損失		【23】		[dB]	【23】		[dB]								
	送信機出力等		SDコード <sup>*</sup>		【	【24】	】	【24】		[dBm]						
反射板情報	上記の中継区間に反射板局を含む場合、その局情報を右に記入 局番号は左の局→反射板→右の局の順に付与する 複数反射板局の場合は局名に次項と記入		カナ	(		【25】	)	局番号	【	【14】	】	【	【14】	】		
			局名	【25】		S D 情 報	アンテナコード <sup>*</sup>	【31】	【31】							
			局番号	【26】			レドームコード <sup>*</sup>	【32】	【32】							
			局位置	東経	【27】	°	【27】	'	【27】	"	アンテナ種別	【33】		【33】		
				北緯	【27】	°	【27】	'	【27】	"	SD間隔1	【35】	(m)	【35】	(m)	
			アンテナコード <sup>*</sup>	【28】		SD間隔2	【36】	(m)	【36】	(m)						
			反射板海拔高	【29】		(m)	特 記	【37】								
			反射板コード	【30】												
反射板角度	[ ° ]															

# 照会相談業務申込書添付資料

( 電気通信業務用[4/5/6/11/15/18/22G] )

(2/2)

カナ		( )	( )	( )	記事						
複数反射板情報	局名				反射板角度は2枚反射板の場合に記入する						
	局番号	【	】	【		】					
	局位置	東経	°	'		〃	°	'	〃		
		北緯	°	'		〃	°	'	〃		
	アンテナコード	【	】	【		】	【	】			
	反射板海拔高		(m)			(m)		(m)			
	反射板コード	【	】	【		】	【	】			
	反射板角度		[°]			[°]		[°]			
<b>局番号</b>		【14】	【14】	【14】	【14】						
品質評価情報	希望波	伝搬路種別コード		【38】	：	【38】	：	【38】	：	【38】	
		平均伝搬路地上高		【39】	：	【39】	：	【39】	：	【39】	(m)
	伝搬路条件	正規	リッジ	コード	【40】	：	【40】	：	【40】	：	【40】
				位置	【40】	：	【40】	：	【40】	(km)	
				標高	【40】	：	【40】	：	【40】	(m)	
		不規則	反射点	コード	【41】	：	【41】	：	【41】	：	【41】
				標高	【41】	：	【41】	：	【41】	(m)	
				コード	【42】	：	【42】	：	【42】	：	【42】
		最遠反射点	【42】	：	【42】	：	【42】	(km)			
		最近反射点	【42】	：	【42】	：	【42】	(km)			
断率改善	素子等	EQLコード		【43】	：	【43】	：	【43】	：	【43】	
		瞬断率・断率改善度									
		AD併設コード		【44】	：	【44】	：	【44】	：	【44】	
		AD併設受信入力差		【44】	[dB]	【44】	[dB]	【44】	[dB]		
		ATPC制御量		【45】	[dB]	【45】	[dB]	【45】	[dB]		
規格等・FM雑音配分	降雨強度(10GHz以上)		【46】				(mm/分)				
	瞬断率・断率規格		【47】	E-	【47】	(/km)					
	雑音配分規格		【48】				(pw)				
	最遠回線長		【49】				(km)				
	多重端局設備雑音		【50】				(pw)				
	同軸ケーブル距離		【51】				(km)				

# 照会相談業務申込書添付資料

( 電気通信業務用[6.5/7.5G] )

(1/2)

照会相談者名		【1】					ルート番号	【2】					
ルート情報	ルート名	【3】	～	【3】	間	【4】	方式	登録コード	【5】	ルート条件	【6】	AD識別	【7】
	記事	01局代表周波数		【8】			[MHz]	送信、受信	送	周波数配置(N、S)		N	
	IDコード	下り方向 【【11】】、上り方向 【【11】】			免許人氏名		【12】						
局情報	局名・局番号		カナ ( 【14】 )		局番号	カナ ( 【14】 )		局番号		( 15 )			
	( 都道府県 : 【13】 )		【14】		( 01 )	【14】		( 15 )					
	局位置		東経	【15】 °	【15】 ′	【15】 ″	東経	【15】 °	【15】 ′	【15】 ″			
			北緯	【15】 °	【15】 ′	【15】 ″	北緯	【15】 °	【15】 ′	【15】 ″			
	電波の方向及び偏波面		送信側 →→ ( 【16】 ) →→					受信側					
	下り方向	アンテナコード	レドームコード	【【17】】	【【18】】	【【17】】	【【18】】						
		アンテナ名		【19】				【19】					
		アンテナ利得	アンテナ海拔高	【19】 [dB]	【20】 (m)	【19】 [dB]	【20】 (m)						
		付加損失		【21】 [dB]		【21】 [dB]							
		給電線損失		【22】 [dB]		【22】 [dB]							
分波器等損失		【23】 [dB]		【23】 [dB]									
送信機出力等		【24】 [dBm]		SDコード	【【24】】								
電波の方向及び偏波面		受信側 ←← ( 【16】 ) ←←					送信側						
上り方向	アンテナコード	レドームコード	【【17】】	【【18】】	【【17】】	【【18】】							
	アンテナ名		【19】				【19】						
	アンテナ利得	アンテナ海拔高	【19】 [dB]	【20】 (m)	【19】 [dB]	【20】 (m)							
	付加損失		【21】 [dB]		【21】 [dB]								
	給電線損失		【22】 [dB]		【22】 [dB]								
	分波器等損失		【23】 [dB]		【23】 [dB]								
	送信機出力等		SDコード	【【24】】		【24】 [dBm]							
反射板情報	上記の中継区間に反射板局を含む場合、その局情報を右に記入 局番号は左の局→反射板→右の局の順に付与する		カナ	( 【25】 )		局番号	【 01 】	【 15 】					
			局名	【25】		S D 情 報	アンテナコード	【31】	【31】				
			局番号	【【26】】			アンテナ名	【33】	【33】				
			局位置	東経	【27】 °	【27】 ′	【27】 ″	アンテナ利得	【34】 [dB]	【34】 [dB]			
				北緯	【27】 °	【27】 ′	【27】 ″	レドームコード	【32】	【32】			
			アンテナコード	【【28】】		SD間隔1	【35】 (m)	【35】 (m)					
			反射板海拔高	【29】 (m)		特 記	【37】						
			反射板コード	【【30】】									
反射板角度	[°]												

# 照会相談業務申込書添付資料

( 電気通信業務用[6.5/7.5G] )

(2/2)

複数反射板情報	カナ	( ) ( ) ( )			記事		
	局名				反射板角度は2枚反射板の場合に記入する		
	局番号	【 03 】	【 04 】	【 】			
	局位置	東経	° / ′ ″	° / ′ ″		° / ′ ″	
		北緯	° / ′ ″	° / ′ ″		° / ′ ″	
	アンテナコード	【 】	【 】	【 】			
	反射板海拔高	(m)	(m)	(m)			
	反射板コード	【 】	【 】	【 】			
反射板角度	[ ° ]	[ ° ]	[ ° ]				
品質評価情報	<b>局番号</b>		【14】	【 01 】	【14】	【 15 】	
	希望波	伝搬路種別コード		【 【38】 】	: 【 【38】 】	: 【 】	: 【 】
		平均伝搬路地上高		【39】	:	【39】	:
	伝搬路条件	正規	リッジ	コード	【 【40】 】	:	【 【40】 】
				位置	【40】	:	【40】 (km)
				標高	【40】	:	【40】 (m)
			反射点	コード	【 【41】 】	:	【 【41】 】
				標高	【41】	:	【41】 (m)
				コード	【 【42】 】	:	【 【42】 】
		不規則	最遠反射点	【42】	:	【42】 (km)	
			最近反射点	【42】	:	【42】 (km)	
	EQLコード		【 【43】 】		【 【43】 】		
	断率改善・素子規格等	ガンマ分布による降雨強度(10GHz以上)		(mm/分)			
		M分布による降雨強度(10GHz以上)		地点コード	【 】	地点名	
		瞬断率・断率規格		【47】	E-	【47】	(/km)
最遠回線長		【49】 (km)					
特記事項等	その他項目		受信帯域幅	特① (MHz)	受信機熱雑音	- 特② (dBm)	
			クロック周波数	特③ (MHz)			
			01局干渉改善度(P側)	特④ [dB]	15局干渉改善度(Q側)	特④ [dB]	
	多方向方式	扇形アンテナ正対方位角		(度)	扇形アンテナ正対仰俯角 (度)		
	入力年月		年		月	投入者名	

## ルート情報の登録

### 【1】 照会相談者名 / 【12】 免許人氏名

照会相談者名 …… 照会相談業務申込をする事業者名(または組織名)を記入する。

免許人氏名 …… 免許人となる事業者名(または組織名)を記入する。

(例)

照会相談者名		免許人氏名
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	→	(株)NTTドコモ
KDDI株式会社	→	KDDI(株)
ソフトバンクモバイル株式会社	→	ソフトバンクモバイル(株)
東日本電信電話株式会社	→	NTT東日本(株)
西日本電信電話株式会社	→	NTT西日本(株)
●●電気株式会社	→	▲▲通信(株)

### 【2】 ルート番号

電波産業会にて使用するため、記入しないで下さい。

### 【3】 ルート名

1ルートとは、同一周波数・同一方式の切り替え区間

6.5/7.5G方式の場合は、01局を低群送りとする。

左側	無線局呼び出し名称を 全角6文字以内として 漢字等で記入	右側
01局(最初の局)		15局(最後の局)

#### 【4】方式名

周波数帯	変調方式	伝送容量
4G	Q : 4PSK	6M
5G	QF : 4FSK	8M
6G	O : 8PSK	25M
6.5G/7.5G	H : 16QAM	26M
11G	HQ : 64QAM	52M
15G	HS : 256QAM	78M
18G		104M
22G		156M

方式の末尾の###はチャンネルの別(01, 02, 03, ……)を表します。  
 英字(a, b)は送信出力等方式定数の別を表します。  
 半角10文字を超える場合は、方式名内の「-」を省略します。

表1 主な方式名のARIB登録例

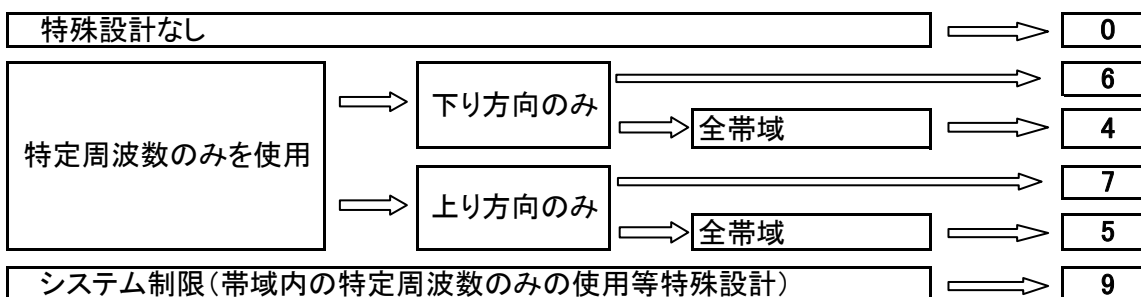
	4PSK	8PSK	16QAM	64QAM
6G	6G-Q-6M		6G-H-52M 6G-H-156M	6G-HQ-156M 6G-HQ156MS
6.5G/7.5G				6.5/7.5GHQ-156M
11G	11G-Q-52M 11G-Q-6M## 11G-Q26M##	11G-O-156M	11G-H156Ma,b 11G-H52M##	11HQ156M## 11HQ-156MC 11HQ-156MI
15G	15G-Q-52Ma,b 15G-Q26M##	15G-O-156M	15G-H-156M 15G-H52M##	15HQ156M##
18G	18G-Q25M##			18HQ156M##
22G	22G-Q-8M 22G-QF-8M※			22G-HQ156M

※4FSK(スタッフ同期)

#### 【5】登録コード

電波産業会にて使用するため、記入しないで下さい。

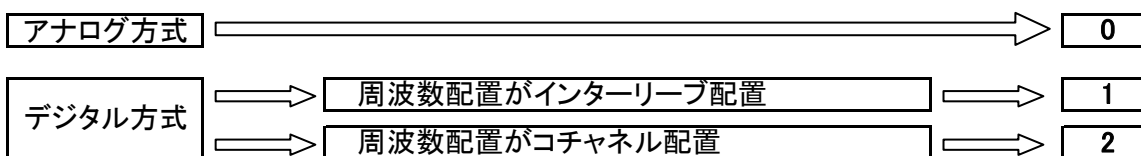
#### 【6】ルート条件

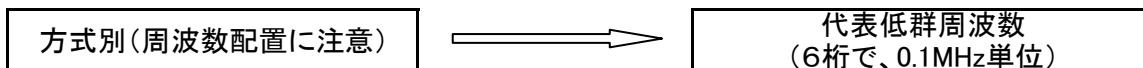


#### 【7】ADコードの識別

代表周波数の周波数配置を決定する。

記入番号

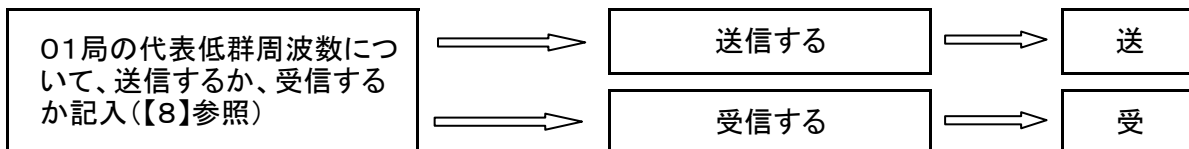


**【8】 01局代表周波数**

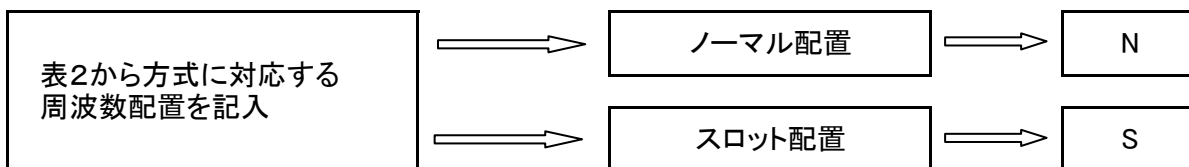
方式毎の代表低群周波数は、表2から表5までのとおりです。

**【9】 送信・受信**

01局の周波数を決定する。

**【10】 周波数配置(NS)**

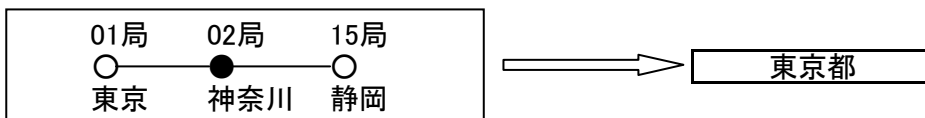
周波数配置を決定する。

**【11】 IDコード**

アルファベット「A～Z」または数字「0～9」の中から1文字を記入します。  
デジタル方式で必要な場合のみ任意に決められ、ルート識別符号として使用できます。

**【13】 都道府県**

01局の都道府県名を記入する。  
(例)



## 局情報の登録

### 【14】局名・局番号

局名	・無線局呼び出し名称を全角6文字以内として漢字等で記入 ・カナ(フリガナ)は、半角10文字以内として濁点・半濁点も1文字で記入 例) (ユリガオガイ2) 百合ヶ丘第2					
局番号	上位局	→ 01	例1	○ — ●		
	下位局	→ 02～順次	局番号01	15		
	<u>反射板も局番号を付与</u>		例2	○ — ● — ○ — ●		
最終局	→ 15	局番号01	02	03	15	
			例3	○ — ● — △ — ○		
			局番号01	02	03	15
				<u>反射板</u>		

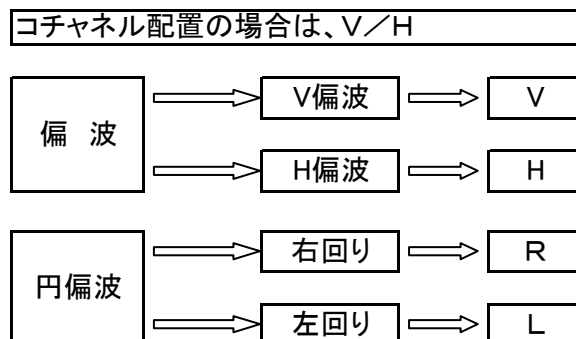
(注) 『【3】ルート名』と同一局名として下さい。

### 【15】局位置

無線局の位置を、世界測地系の緯度・経度で記入します。

### 【16】電波の方向及び偏波面

送信電波の偏波面を決定します。



下り(局番号の昇順方向)及び上り(局番号の降順方向)別に記入します。

### 【17】アンテナコード

既にARIBにアンテナ特性を登録	→	6桁番号を記入
ARIBにアンテナ特性を未登録	→	上位4桁番号を記入
※別紙:アンテナデータ登録記入要領 参照		



使用番号	内 容
0	反射板
1	パラボラアンテナ等の軸対称アンテナ(ただし、6、7項を除く)
2	ホーンアンテナ等の軸非対称アンテナ(ただし、6、7項を除く)
3	衛星回線用アンテナ
4	パラボラアンテナを背面直結した無給電アンテナ
5	その他(扇形ビームアンテナ)
6	送信eirp、受信アンテナ特性が規定されたアンテナ(注)
7	指向特性計算式を用いた自営回線用アンテナ

	使用番号	記載内容
アンテナ	2~4桁 000~999	アンテナ口径 (0.1m単位で記入)
	5~6桁 00~99	一連番号 (ARIBで付与)
反射板	2~4桁 000~999	反射板横長 (0.1m単位で記入)
	5~6桁 00~99	反射板縦長 (0.1m単位で記入)

(注)6を使用する方式は、表1に示すSDH方式。

### 【18】レドームコード

レドームの有り、無しをコードで記入します。

あり	→	1	なし	→	0
----	---	---	----	---	---

### 【19】アンテナ種別、アンテナ名、アンテナ利得

アンテナ名は半角14文字以内で記入します。  
アンテナ利得にはレドーム損失込みの値を記入します。  
スペースダイバシティ(SD)使用の場合は、利得が大きいアンテナを記入します。

(注) アンテナコードと一致したデータを記入して下さい。

### 【20】アンテナ海拔高

アンテナの中心(電波の放射点)の海拔高を4桁、m単位(少数点以下四捨五入)で記入します。

**【21】 付加損失**

スパン等化量を2桁、dB単位(少数点以下四捨五入)で記入します。

送信側でスパン等化を行う場合	⇒	送信側欄に等化量を記入
受信側でスパン等化を行う場合	⇒	受信側欄に等化量を記入
スパン等化を行わない場合	⇒	送信側欄・受信側欄に「0」を記入

**【22】 給電線損失**

【19】のアンテナに接続される給電線の損失を3桁、0.1dB単位で記入します。

**【23】 分波器等損失**

分波器・送受共用器・可とう導波管等の損失の合計値を3桁、0.1dB単位で記入します。

**【24】 送信機出力等(SDコード)**

送信側	<p>送信機出力を3桁、0.1dB単位で記入します。</p> <p>SDコードが「5」の場合 : 送信SD側の送信出力は、定格値に3dBを加えて記入。</p>
受信側	<p>下表の中から該当するSDコードを記入します。</p> <p>SDコードが「1」の場合 : 対向局双方に、同一SDコード、同一SD間隔を記入。</p>

SDコード	内容
0	単一アンテナ
1	マルチアンテナ
2	切り替え
3	RF合成(受信)
4	IF合成(受信)
5	IF合成(送信)
6	RF合成(送信)
7	偏波ダイバーシチ

## 反射板情報の登録

反射板の使用有無	照会相談業務申込書(1/2)	照会相談業務申込書(2/2)
使用しない	記入不要	記入不要
1箇所を使用	反射板情報に「反射板情報」を記入	記入不要
2箇所以上に使用	反射板情報の局名欄に「次頁」と記入	複数反射板情報に「反射板情報」を記入

### 【25】 局名

反射板名を漢字等(全角4文字以内)で記入します。

(1)漢字は括弧で括ってください。

(2)局名の上にカナ(フリガナ)を半角10文字以内(濁点・半濁点も1文字)で記入します。

例) シンジュクツカ  
(新宿戸塚)

### 【26】 局番号

上位局(局番号の若番)側より順に番号を付与します。

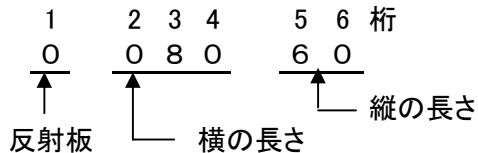
「02」～「14」の範囲で番号付与が可能です。(【14】項を参照)

### 【27】 局位置

反射板局の位置を緯度・経度で記入します。

### 【28】 アンテナコード

6桁のコードで表され、1桁目は「0」、反射板の大きさは、2～6桁で表示します。



付与例)

008060: 横8m × 縦6m

010000: 横10m × 縦10m

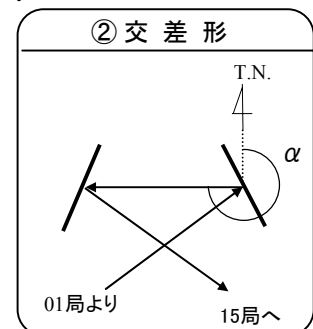
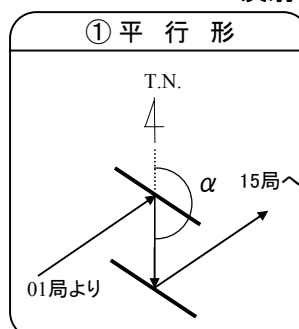
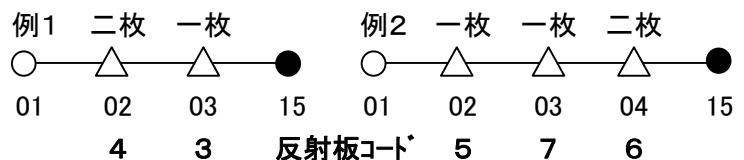
(縦の長さが10mの場合は、5～6桁目は「00」です。)

### 【29】 反射板海拔高

反射板の中心の海拔高を4桁、m単位で記入します。

### 【30】 反射板コード、反射板角度

反射板コード	内容
1	1カ所一枚反射板
2	1カ所二枚反射板
3	2カ所一枚反射板
4	2カ所二枚反射板
5	3カ所一枚反射板(両端)
6	3カ所二枚反射板(両端)
7	3カ所一枚反射板(中央)
8	3カ所二枚反射板(中央)
9	パラボラアンテナ背面直結



## SD情報の登録

SD使用時のみ、SDアンテナの情報を記入します。SDを使用しない場合は、記入不要。

**【31】アンテナコード**／**【32】レドームコード**／**【33】アンテナ種別**／**【34】アンテナ利得**  
【17】～【19】項と同じ。

### **【35】SD間隔1**

メインアンテナを基準にSDアンテナとの間隔を3桁、0.1m単位で記入します。  
(注)SDアンテナがメインアンテナより上にある場合は、マイナスを前につけて記入します。

例1	メインアンテナより、12.0m下側の位置にSDアンテナがある場合	⇒	12.0
----	----------------------------------	---	------

例2	メインアンテナより、5.0m上側の位置にSDアンテナがある場合	⇒	-5.0
----	---------------------------------	---	------

### **【36】SD間隔2**

第2SDアンテナがある場合のみ記入します。(第2SDアンテナがない場合は記入不要)

アンテナ間隔の記入方法は、上記【34】と同様です。

### **【37】特記**

例 1 4PSK変調を用いた方式(Q-OO方式)で、中継局が非再生中継を用いた場合。

「02」は非再生中継局と記入

その他、特殊な設計の情報を記入します。

## 品質評価用情報の登録

### 【伝搬路条件】

#### 【38】希望波 伝搬路種別コード

希望伝搬路	山岳区間	平野区間	海上区間
伝搬路種別コード	1	2	3

反射板がある場合 上位局～反射板の伝搬路種別コードを「左の欄」に記入  
反射板～下位局の伝搬路種別コードを「右の欄」に記入

#### 【39】希望波 平均伝搬路地上高

送受信点間の希望波伝搬路の平均地上高を3桁、m単位（小数点第一位を四捨五入）で記入します。

反射板がある場合 上位局～反射板の平均伝搬路地上高を「左の欄」に記入  
反射板～下位局の平均伝搬路地上高を「右の欄」に記入

#### 【40】反射波 正規リッジ

正規反射波を遮蔽するリッジ状況を、下表に従ってリッジコードを記入します。

リッジがある場合 : 上位局～リッジ位置の距離を4桁、0.1km単位、  
リッジの海拔高を4桁、m単位で記入

反射板がある場合 : 上位局～反射板のリッジコード等を「左の欄」に記入  
反射板～下位局のリッジコード等を「右の欄」に記入

リッジがない場合	リッジが存在する場合	
	反射点の位置と下位局間	反射点の位置と上位局間
リッジコード : 0	リッジコード : 1	リッジコード : 2

#### 【41】反射波 反射点

正規反射波の反射点等の状況を、下表に従って正規反射点コードを記入します。

反射点コード	内容
1	水面
2	水田
3	畑(乾田)
4	都市
5	山岳・森林
6	正規反射波なし

正規反射点の標高を4桁、m単位で記入  
(例) 263m

→ 正規反射点の標高は記入しません。

※反射点標高は、上位局及び下位局のアンテナ海拔高未滿で記入。

【伝搬路条件】

【42】 反射波 不規則

フェージングの検討で使用するため、周波数帯が10GHz未満の場合のみ記入

不規則反射波コード	内 容	不規則反射波
0	正規反射点が陸上で、陸上のみ の伝搬路	存在 しない
1	正規反射点が陸上で、海上を含 む伝搬路	存在 する
2	正規反射点が海上で、正規反射 波をさえぎるリッジがある場合	存在 する
3	正規反射点が海上で、正規反射 波をさえぎるリッジがない場合	存在 しない

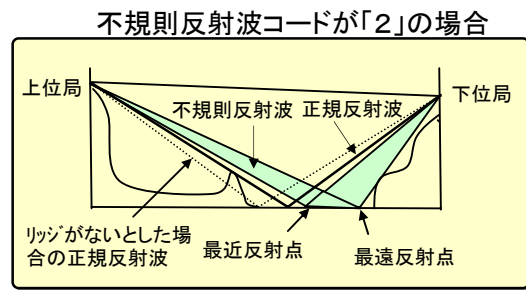
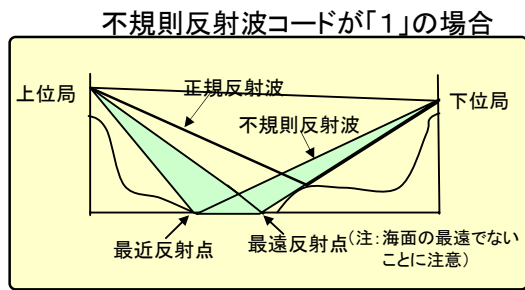
不規則反射コードが1または2の場合

見通し図から不規則反射の範囲(送受信点から海面を見渡せる範囲)として、①最遠反射点、②最近反射点の上位局からの距離を4桁、0.1km単位で記入します。(下図参照)

不規則反射波コード0または3の場合

最遠反射点及び最近反射点は記入不要。

(注) 最遠反射点:上位局から最も遠い反射点 最近反射点:上位局から最も近い反射点



【断率改善素子等】

【43】 EQLコード:種別

方式に対応したEQLコードを、下表により記入します。

方式名	EQL等の内容	記入番号
4/5/6/6.5/7.5/ 11/15/18/22G- Q-6M Q-8M、QF-8M Q-25M Q-26M Q-52M O-156M H-52M H-156M HQ-78M HQ-156M HS-104M	TRV-EQLなし	10
	5タップTRV-EQL	11
	7タップTRV-EQL	12
	9タップTRV-EQL	13
	その他(Z=31.6)	14
4/5/6G-200M	5タップTRV-EQL	2
	SD受信+5タップTRV-EQL	3
	SD受信+7タップTRV-EQL	4
	SD受信+7タップTRV-EQL+FD-EQL	5
4/5/6G-200ME 4/5/6LS-200	7タップTRV-EQL	C
	7タップTRV-EQL+FD-EQL	D

※表にない断率改善素子については、具体的な内容を「EQLコード欄」に記入して下さい。

**【44】 AD併設コード、AD併設受信入力差**

記入不要

**【45】 ATPC制御量**

18GHz帯においてATPC機能を使用する場合のみ、ATPC制御量を3桁、0.1dB単位で記入します。

**【規格等・FM雑音配分】****【46】 降雨強度(10GHz以上の方式のみ記入)**

降雨強度を3桁、0.01mm/分単位で記入します。

降雨強度については、「電気通信事務規定集5 無線局免許等審査基準要領 別図第35号 0.0075% 1分間降雨量(mm/分)の地域分布図」を参照

**【47】 瞬断率・瞬断規格**

01局のみに、1kmに対する瞬断率規格(4/5/6/6.5/7.5GHz)、または回線不稼働率規格(11/15/18/22GHz)を下表により、仮数3桁0.01単位、指数を整数1桁で記入します。22G-Q(QF)-8M方式は、1区間当たりの不稼働率規格を記入します。

周波数帯	方式名	瞬断率・瞬断規格	記入方法			
4/5/6GHz帯	Q-6M	$4.00 \times 10^{-7} / \text{km}$	4.00	E-	7	(/km)
	Q-52M	$2.68 \times 10^{-7} / \text{km}$	2.68	E-	7	(/km)
	H-52M	$2.16 \times 10^{-7} / \text{km}$	2.16	E-	7	(/km)
	H-156M					
	HQ-78M					
	HQ-156M					
	HS-104M					
6.5/7.5GHz帯	HQ-156M	$4.00 \times 10^{-7} / \text{km}$	4.00	E-	7	(/km)
11/15/18GHz帯	H-52M	$1.00 \times 10^{-5} / \text{km}$	1.00	E-	5	(/km)
	HQ-156M					
	Q-26M					
	Q-25M					
	Q-6M	$1.79 \times 10^{-6} / \text{km}$	1.79	E-	6	(/km)
	O-156M	$1.18 \times 10^{-6} / \text{km}$	1.18	E-	6	(/km)
	H-156M					
HQ-156M						
22GHz帯	Q-8M	$4.00 \times 10^{-5} / \text{区間}$	4.00	E-	5	(/km)
	QF-8M					
	HQ-156M					

**【48】 雑音配分規格**

記入不要

**【49】 最遠回線長**

アナログ方式及び6.5/7.5GHz帯方式について記入する。

例) 125 (km)

01局のみに、雑音配分決定上での回線長を4桁、km単位で記入する。

※以下はアナログ方式のみ記載する。

**【50】 多重端局設備雑音**

記入不要

**【51】 同軸ケーブル距離**

雑音配分規格	01局に、全伝送距離に配分される雑音量を5桁、0.1pW単位で記入
多重端局設備雑音	01局に、多重端局設備雑音の総計を4桁、pW単位で記入
同軸ケーブル距離	01局に、引き込み同軸ケーブル長の総計を4桁、km単位で記入

**特記事項等の登録 (6.5/7.5G)****特① 受信帯域幅**

受信機帯域幅を0.01MHz単位で記入します。

**特② 受信機熱雑音**

受信機熱雑音電力を0.1dBm単位で記入します。

**特③ クロック周波数**

クロック周波数を5桁(0.01MHz)単位で記入します。

**特④ 干渉改善度**

特別な対策等により、改善度が認められた時のみ、その値を0.1dB単位で記入します。

別表1 周波数帯・周波数配置毎の低群局代表周波数

周波数帯	周波数配置		代表低群周波数(MHz)	デジタル方式				
				4PSK	8PSK	16QAM	64QAM	256QAM
4G	コチャネル	ノーマル	3620.0			4G-H-52M	4G-HQ-78M	
			3630.0			4G-200ME		
			3640.0			4LS-200M		4G-HQ-156M
	スロット	3895.0	4G-Q-6M					
	インターリーブ	ノーマル	3630.0					
			スロット	3650.0	4G-Q-52M			
5G	コチャネル	ノーマル	4420.0			5G-H-52M	5G-HQ-78M	5G-HS-104M
			4430.0			5G-200ME		
			4440.0				5G-HQ-156M	
	スロット	4695.0	5G-Q-6M					
	インターリーブ	ノーマル	4430.0			5G-200M		
6G	コチャネル	ノーマル	5935.0			6G-H-52M	6G-HQ-78M	6G-HS-104M
			5945.0			6G-200ME		
			5955.0				6G-HQ-156M	
	スロット	6170.0	6G-Q-6M					
インターリーブ	ノーマル	5945.0				6G-HQ156MS		
6.5G	インターリーブ	ノーマル	6670.0				6.5GHQ156M A65GHQ156M	
	コチャネル	ノーマル	6670.0				6.5CHQ156M A65CHQ156M	
7.5G	インターリーブ	ノーマル	7535.0				7.5GHQ156M A75GHQ156M	
	コチャネル	ノーマル	7535.0				7.5CHQ156M A75CHQ156M	
11G	コチャネル	ノーマル	11170.0	11S-D3				
			10730.0			11G-H-156Ma(注)		
			10735.0			11G-H-156Mb(注)		
			11170.0	11G-Q-6M01(注)			11HQ-156MC	
			11175.0	11S-24M				
			11180.0	11G-Q-6M02(注)				
	インターリーブ	スロット	10715.0					
			10705.0					
			10735.0	11G-Q-52M				
			(別表3) (表4)	11G-100M	11G-O-156M		11HQ-156MI	
		11G-D2						
		11G-Q-26M		11G-H52M##				
					11HQ156M##			
15G	コチャネル	スロット	14430.0			15G-H-156M		
	インターリーブ	スロット	14440.0	15G-D2				
				15S-P2				
				15G-Q-52Ma(注)				
				15G-Q-52Mb(注)				
(別表3)	15G-Q26M##		15G-H52M##					
(別表4)					15HQ156M##			
18G	インターリーブ	スロット	(別表4)	18G-Q25M##			18HQ156M##	
22G	インターリーブ	ノーマル	(別表2)	22G-Q-8M			22G-HQ-156M	
				22G-QF-8M				

(注)方式の末尾の数字(01,02,03)及び##はチャンネルの別を、英字(a,b)は送信出力等方式定数の別を表している。

別表2 22GHz周波数割当表

	代表低群周波数		高群周波数	
	チャンネル番号	周波数	チャンネル番号	周波数
1	1A	22402.5 MHz	1B	23002.5 MHz
2	2A	22407.5 MHz	2B	23007.5 MHz
3	3A	22412.5 MHz	3B	23012.5 MHz
4	4A	22417.5 MHz	4B	23017.5 MHz
5	5A	22422.5 MHz	5B	23022.5 MHz
6	6A	22427.5 MHz	6B	23027.5 MHz
7	7A	22432.5 MHz	7B	23032.5 MHz
8	8A	22437.5 MHz	8B	23037.5 MHz
9	9A	22442.5 MHz	9B	23042.5 MHz
10	10A	22447.5 MHz	10B	23047.5 MHz
11	11A	22452.5 MHz	11B	23052.5 MHz
12	12A	22457.5 MHz	12B	23057.5 MHz
13	13A	22462.5 MHz	13B	23062.5 MHz
14	14A	22467.5 MHz	14B	23067.5 MHz
15	15A	22472.5 MHz	15B	23072.5 MHz
16	16A	22477.5 MHz	16B	23077.5 MHz
17	17A	22482.5 MHz	17B	23082.5 MHz
18	18A	22487.5 MHz	18B	23087.5 MHz
19	19A	22492.5 MHz	19B	23092.5 MHz
20	20A	22497.5 MHz	20B	23097.5 MHz
21	21A	22502.5 MHz	21B	23102.5 MHz
22	22A	22507.5 MHz	22B	23107.5 MHz
23	23A	22512.5 MHz	23B	23112.5 MHz
24	24A	22517.5 MHz	24B	23117.5 MHz
25	25A	22522.5 MHz	25B	23122.5 MHz
26	26A	22527.5 MHz	26B	23127.5 MHz
27	27A	22532.5 MHz	27B	23132.5 MHz
28	28A	22537.5 MHz	28B	23137.5 MHz
29	29A	22542.5 MHz	29B	23142.5 MHz
30	30A	22547.5 MHz	30B	23147.5 MHz
31	31A	22552.5 MHz	31B	23152.5 MHz
32	32A	22557.5 MHz	32B	23157.5 MHz
33	33A	22562.5 MHz	33B	23162.5 MHz
34	34A	22567.5 MHz	34B	23167.5 MHz
35	35A	22572.5 MHz	35B	23172.5 MHz
36	36A	22577.5 MHz	36B	23177.5 MHz
37	37A	22582.5 MHz	37B	23182.5 MHz
38	38A	22587.5 MHz	38B	23187.5 MHz
39	39A	22592.5 MHz	39B	23192.5 MHz
40	40A	22597.5 MHz	40B	23197.5 MHz
41	51A	22420 MHz	51B	23020 MHz
42	52A	22460 MHz	52B	23060 MHz
43	53A	22500 MHz	53B	23100 MHz
44	54A	22540 MHz	54B	23140 MHz
45	55A	22580 MHz	55B	23180 MHz

別表3 11/15G-Q-26M、11/15G-H-52M方式の周波数割当表

周波数帯	方式名	チャネル番号	代表低群 周波数(GHz)	登録方式名	備考
11GHz	11G-Q-26M (4PSK26M)	1	10.725	11G-Q26M01	
		2	10.745	11G-Q26M02	
		3	10.765	11G-Q26M03	
		4	10.785	11G-Q26M04	
		5	10.805	11G-Q26M05	
		6	10.825	11G-Q26M06	
		7	10.845	11G-Q26M07	
		8	10.865	11G-Q26M08	
		9	10.885	11G-Q26M09	
		10	10.905	11G-Q26M10	
		11	10.925	11G-Q26M11	
		12	10.945	11G-Q26M12	
	11G-H-52M (16QAM52M)	1	10.725	11G-H52M01	
		2	10.745	11G-H52M02	
		3	10.765	11G-H52M03	
		4	10.785	11G-H52M04	
		5	10.805	11G-H52M05	
		6	10.825	11G-H52M06	
		7	10.845	11G-H52M07	
		8	10.865	11G-H52M08	
		9	10.885	11G-H52M09	
		10	10.905	11G-H52M10	
		11	10.925	11G-H52M11	
		12	10.945	11G-H52M12	
15GHz	15G-Q-26M (4PSK26M)	1	14.510	15G-Q26M01	
		2	14.530	15G-Q26M02	
		3	14.550		
		4	14.570		
	15G-H-52M (16QAM52M)	5	14.590	15G-H52M05	
		6	14.610	15G-H52M06	
		7	14.630		
		8	14.650		

別表4 11/15/18G-HQ-156M、18G-Q-25M方式の周波数割当表

周波数帯	方式名	チャネル番号	代表低群 周波数(GHz)	登録方式名
11GHz	11G-HQ-156M (64QAM156M)	1	10.735	11HQ156M01
		2	10.775	11HQ156M02
		3	10.815	11HQ156M03
		4	10.855	11HQ156M04
		5	10.895	11HQ156M05
		6	10.935	11HQ156M06
15GHz	15G-HQ-156M (64QAM156M)	1	14.520	15HQ156M01
		2	14.560	15HQ156M02
		3	14.600	15HQ156M03
		4	14.640	15HQ156M04
18GHz	18G-HQ-156M (64QAM156M)	1	17.870	18HQ156M01
		2	17.910	18HQ156M02
		3	17.950	18HQ156M03
	18G-Q-25M (4PSK25M)	1	17.860	18G-Q25M01
		2	17.880	18G-Q25M02
		3	17.900	18G-Q25M03
		4	17.920	18G-Q25M04
		5	17.940	18G-Q25M05
		6	17.960	18G-Q25M06